

ジャーヌ・ヤンセンから、
そのストラディヴァリウスを引き継いだ
オランダ期待の注目のヴァイオリニスト、
待望の初来日!

トーク (通訳付き)
を交えた演奏が
大好評!

Rosanne Philippens

ロザンネ・フィリップペンス

ソロ・ヴァイオリンの夕べ

Violin Solo Recital

Program

- ✿ **H.I.von ビーバー** H.I.von Biber (1644-1704)
パッサカリア ト短調 ロザリオのソナタ集より
Mystery/RosarySonatas:Passacaglia in G minor (1676)
- ✿ **J.S. バッハ** J.S. Bach (1685-1750)
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ
第2番 ニ短調 BWV1004
Partita No.2 in D minor BWV1004
- ✿ **G. エネスク** G. Enescu (1881-1955)
ルーマニアの様式による歌
Aires dans le genre Roumain
- ✿ **E. イザイ** E. Ysaÿe (1858-1931)
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ
第3番 ニ短調 op.27-3「バラード」
Sonata No.3 in D minor, op.27-3 "Ballade"
- ✿ **F. クライスラー** F. Kreisler (1875-1962)
レチタティーヴォとスケルツォ・カプリース op.6
Recitativo et Scherzo Caprice, op.6

©Marco Borggreve

2024年4月30日 開演19:00 (開場18:30)
Tuesday, 30 April at 19:00 Hamarikyū Asahi Hall

 浜離宮朝日ホール

朝日新聞社新館2階 TEL.03-5541-8710
都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅 A2出口すぐ

チケット (全指定席) 5,000円 (税込)

1月22日 (月) 発売開始

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990
(日・祝除く 10:00~18:00)
<https://www.asahi-hall.jp/hamarikyū/> 朝日ホール・チケットセンター 検索
チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード 260-282)
e+(イープラス) <https://eplus.jp>
ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード 32057)

お問合せ・電話予約 日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545
<http://www.nipponartists.jp>

*就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。
イベント託児・マザーズ (要予約) 0120-788-222

■主催: 朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール / 日本アーティスト ■協賛: ナクソス・ジャパン株式会社

Rosanne Philippons

ロザンネ・フィリップpens

コンサートホールでの私の目的は、一体感を喚起することです。
これが音楽を不可欠なものにしているのです——人々を結びつける言葉のない表現です。

ロザンネ・フィリップpensは並外れたコミュニケーターであり、生来の音楽性と、音楽制作への喜びと誠実なアプローチを備えている。彼女の演奏は洗練され、活気に満ち、深遠であり、オランダの日報 De Telegraaf では「エネルギーで繊細で完璧」と表現されている。

彼女はソリストとして、また室内楽奏者としてオランダをはじめヨーロッパの主要なホールで幅広く国際的な演奏活動をしている。コロナ禍の最も暗い時期に、彼女はそのエネルギーを新しいアンサンブル、フォンデル・ストリングスの創設に注ぎ込み、その成果はコンサートヘボウでの演奏、さらにハイドンとストラヴィンスキーの新録音につながりチャンネル・クラシックスからCDをリリース。

22/23のハイライトには、ロイヤル・フィルハーモニーでのロンドン・デビュー、SWR コンスタンツとのドイツ・ツアー、BBC スコティッシュ交響楽団、ザンクトガレン交響楽団、アルスター管弦楽団等との再演、パリのクラシック・オ・ヴェール・フェスティバルでのフランス国立管弦楽団との共演が含まれる。

近年、彼女はイル・ド・フランス管弦楽団との弾き振り演奏、フィラルモニー・ド・パリ、リヨン国立管弦楽団とは双方から即時に再招待を受けている。彼女は、デ・ドーレンのロッテルダム・フィルハーモニー、オランダ放送フィルハーモニーの権威ある土曜マチネ・シリーズ、ハーグとアムステルダムのコンサートヘボウ・ホールの両方でレジデント・オーケストラと、バルセロナ交響楽団とはモーツァルト・フェスティバル 2021 の一環としてパラオ・デ・ラ・ムジカでそれぞれとソリストとして出演している。

ドイツでは昨シーズン、テネリフェ交響楽団との共演でプリンツレーゲンテン劇場とリーダーハレ・シュトゥットガルトでデビュー、その他、ノールショピング交響楽団、オーヴェルニュ管弦楽団、BBC スコティッシュ交響楽団にデビューし、BBC スコティッシュ交響楽団には即 22/23 にも再招待された。彼女が共演した指揮者には、ヤニック・ネゼ＝セガン、ローレンス・フォスター、オットー・タウスク、ヤン・ヴィレム・デ・フリーント、アントニー・ヘルムス、ニコラス・コロシ、ロランス・エキルベイ、ケヴィン・ジョン・エドゥセイ等があげられる。

リサイタルや室内楽では、ヴィルデ・フラング、ジュリアン・クエンティン、ヴィキングル・オラフソン、アミハイ・グロス、カミーユ・トマ、ゾルターン・フェイエルヴァーリなどのアーティストとヨーロッパ各地のホールやフェスティバルで定期的に演奏している。クラシック音楽の壁を打ち破ることを強く感じていた彼女は、独自のコンサートシリーズ「アムステルダム・サロン The Amsterdam Salon」を企画運営し、親密なサロンの雰囲気の中で、慎重に考え抜かれた様々な場所で高品質のコンサートを開催している。

チャンネル・クラシックスからリリースされている CD は全てが絶賛、ストラッド誌は彼女の CD「インサイト Insight」を「穏やかで強烈」「まばゆいばかりの演奏家」と評している。

彼女は、ハーグ王立音楽院、ベルリンのハンス・アイスラー・アカデミーでクーシェ・ワイゼンベーク、ヴェラ・ベス、アンナー・ビルスマ、ウルフ・ヴァーレンに師事、両校から最高の栄誉を受ける。2009 年オランダ全国ヴァイオリン・コンクール、2014 年フライブルク国際ヴァイオリン・コンクールでそれぞれ第 1 位に輝いている。

彼女はエリーゼ・マチルド財団より貸与されている 1727 年製バレレ・ストラディヴァリウスを演奏している。



©Marco Borggreve

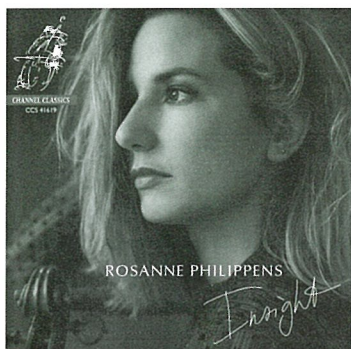
ロザンネ・フィリップpens on Channel Classics

輸入販売元：ナクス・ジャパン naxos.jp

すべて輸入盤、オープン価格。日本語解説はありません。



ヨーロッパのコンサート・ツアーから生まれた、静かに深く力強く心に触れるプログラム！



ROSANNE PHILIPPENS

インサイト — 無伴奏リサイタル

ビーバー：パッサカリア 第1部(ロザリオのソナタより)
フィリップpens: 間奏曲1
J.S. バッハ：アルマンド&クランツ
(無伴奏ヴァイオリン・バルティータ第2番より)
エネスク：サラバンド
J.S. バッハ：サラバンド&ジーク
(無伴奏ヴァイオリン・バルティータ第2番より)
フィリップpens: 間奏曲2
エネスク：ルーマニアの様式による歌
フィリップpens: 間奏曲3
イザイ：バラード(無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第3番より)
ビーバー：パッサカリア 第2部(ロザリオのソナタより)
フィリップpens: 終曲
録音:2018年
ロザンネ・フィリップpens(ヴァイオリン) ●CCS41619

献呈 Dedications

— フォーレ、ショーンソン、クライスラー、サン＝サーンス、イザイの作品集
録音:2016年●CCS38516(CD)

ラプソディ — ラヴェル、バルトーク、フバイの作品集

録音:2012年●CCSSA35013(SACDハイブリッド・ディスク)

ハイドン：ヴァイオリン協奏曲第1番&第4番 ストラヴィンスキー：

バレエ音楽『妖精の接吻』～ディヴェルティメント
録音:2021年●CCS43921(CD)

プロコフィエフ：

ヴァイオリン協奏曲第2番、無伴奏ヴァイオリン・ソナタ ほか
録音:2016年●CCS39517(CD)